



# 生ごみ堆肥化容器の使用法

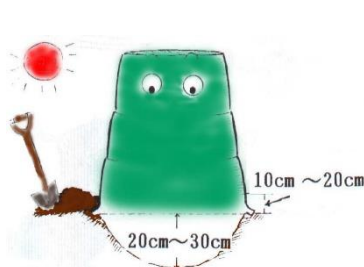
## ◎ 使用の方法

①



排水が良く日当たりの良い場所を選ぶ。

②



深さ20cm~30cm掘り下げる容器を10cm~20cm埋める。

③



水きりした生ごみを入れ、土をかぶせる。

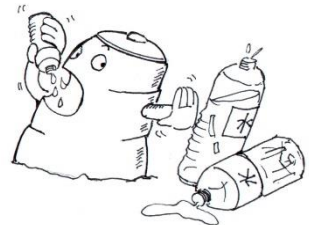
④



半月に1回位かき混ぜ、水分が多い場合は枯れ草や新聞を入れる。

## ◎ 堆肥にできるもの、できないもの

○ 堆肥にできる生ごみ----- 調理くず・食べ残しなど  
(土の中で分解されるもの)



※水分は禁物(60%位に)

● 堆肥にできないごみ----- 腐敗した生ごみ・吸殻・スポンジ・金属類・ガラスの破片など  
(土の中で分解されないもの)

## ◎ 失敗の防止策

● 悪臭の発生..... 水分調整と通気性の改善が必要です。



- 乾燥した土を振りかける。
- 枯葉や枯れ草などを振りかける。
- お茶がら、コーヒーかすを混ぜる。

● 虫の発生..... 水分調整と発酵促進が必要です。



- ふたやネットで虫の進入を防ぐ。
- 乾燥した土や枯れ草など振りかける。
- 発酵促進剤として、米ぬかや廃食油をコップ1杯程度入れ温度を上げる。
- 石灰を振りかける。使う量は生ごみ1kg当り1gまで。  
※あまり多く入れると悪臭の元になります。



問合せ先 〒080-2464 帯広市西24条北4丁目1番地  
 帯広市都市環境部環境室清掃事業課 管理係  
 電話 37-2311 FAX 37-2313  
 E-mail clean@city.obihiro.hokkaido.jp

